

科目名	教育心理学		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

教職に関する科目のうち、教育の基礎理論についての理解を深める科目である。

##### 科目の概要

教職志望の初学者を主な対象として、学習の過程、および児童生徒の心身の発達について、教育心理学的な知見を学ぶとともに、学校教育現場における具体的な問題についての理解を深める。障害をもった子どもたちの発達、および特別な支援のあり方についても取り扱う。児童・生徒であった、そして学生である受講生に対して、「教える」、「学ばせる」、「学びを支援する」という「教師の立場」から、教育・指導や学習活動を客観的かつ分析的な視点からとらえようとする態度を育むことを目指す。

##### 学修目標

教育心理学的な考え方や知識に基づいて、学校教育における学習活動の客観的に理解することができる。さらに、よりよい学習活動を展開するための工夫や特別な支援を必要とする子どもたちの学習活動のあり方について、心理学的知見に基づいて具体的に考えることができるようになる。

#### 内容

1. 教育心理学と学校教育
2. 学習の動機づけ(1) 動機づけのメカニズム、内的欲求
3. 学習の動機づけ(2) 内発的動機づけと外発的動機づけ
4. 学習の基礎理論
5. 教授学習における学習理論
6. 協同学習の理論と実践
7. 学級の心理学
8. 学習の個性化、個別的ニーズへの対応
9. 教育評価
10. 発達(1) 発達の一般的特徴、発達を規定する要因
11. 発達(2) 発達段階と発達課題
12. 学習者の特性理解(1) 知的能力の発達と測定
13. 学習者の特性理解(2) パーソナリティの理論と測定
14. 学習者の特性理解(3) 障がいに応じた特別支援教育
15. 学習のまとめと確認

#### 評価

筆記試験：90点，授業内課題10点の計100点で、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教職ガイダンス等で指示します。

科目名	教育方法		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 1 科目の性格

本科目は、教員免許法に定める「教育課程及び指導法に関する科目」の2単位に対応するものである。（教職必修）

##### 2 科目の概要

本科目では、中等教育に必要な教育方法学の基本（教育課程の編成・学習指導の原理・学習指導の実際）について学ぶとともに、教育メディア活用についての諸問題について学ぶ。

##### 3 学修目標

本科目の学修目標は以下の3点である。 教育課程編成の理論と実際について理解する。 学習指導に必要な原理と実践方法を身につける。 学校教育におけるメディアの活用について理解する。

#### 内容

- 1 教育課程の意義と類型
- 2 教育課程の編成
- 3 学習指導の意義と目標
- 4 教材とその研究
- 5 学習指導の原理
- 6 学習指導過程
- 7 学習集団の組織
- 8 授業と指導技術
- 9 教授メディアとその活用
- 10 コンピュータ利用の学習指導（総論）
- 11 授業設計の実際
- 12 優れた授業実践（映像）の視聴と討議
- 13 授業分析の方法と技術
- 14 新しいスタイル（TTなど）の授業方法
- 15 まとめ

#### 評価

毎回授業冒頭の小テスト・筆記試験により評価する。その比率は50点：50点とする。合計60点以上を合格とする。合格点に満たない場合には「再試験」を行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【テキスト】

長谷川栄・佐々木俊介編著 『教育の方法と技術 - 実践的指導力の基礎を培う』 協同出版

天井・橋本編著 『現代実践教職入門』 学事出版

【参考図書】 授業中に、本学蔵書を適宜紹介する。

科目名	特別活動		
担当教員名	上原 行義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

#### 科目の性格

本科目は、教育職員免許法施行規則に定める、中学校の免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「教育課程及び指導法に関する科目」に対応するものである。

中学校二種の免許状を取得しようとする者は、必修であるので留意すること。

#### 科目の概要

特別活動は、学校教育における各教科以外の学習の中心となるものである。しかし学習指導要領に示された特別活動の本質や理念が一般的には十分に理解されているとは言えない。特別活動の目的や方法について正しい理解のもとに指導できるよう、下記の学修目標にかかわる事項について具体的に考察する。また、学生が自ら小中学校で体験した特別活動に関する思い出や課題意識を相互に意見交換し、教師として児童生徒の自主的な活動を指導できるようにする。

#### 学修目標

- ・学校教育の今日的課題である「生きる力」の育成に資する特別活動の意義や役割について考察し、特別活動の歴史的変遷や領域ごとの特色について理解する。
- ・望ましい集団活動を組織し、児童生徒が自ら話し合い、協力して実践するための指導のあり方について考察する。
- ・学級活動の授業の進め方について理解し、学習指導案を作成する。

## 内容

1	1. 学校教育の今日的課題と特別活動	社会動向と教育的課題
2	2. 特別活動の教育的課題	特別活動の特質、性格について
3	3. 日本における特別活動の歴史と変遷	近代日本の教科外活動、戦後における特別活動
4	4. 学級活動の意義と指導の実際	学級活動の意義と性格
5	5. 学級活動の内容・方法・評価	学級活動の指導形態と方法
6	6. 学級活動の展開事例と今日的課題	学級活動の指導案
7	7. 学級活動の指導案の作成	
8	8. 児童会活動、生徒会活動	児童会・生徒会活動の特質と目標、内容及び指導上の留意点
9	9. クラブ活動、部活動の歴史的変遷と教育的意義	
10	10. 学校行事の目標・内容・指導計画等望ましい実施と指導上の配慮事項	
11	11. 総合的な学習の時間との連携	
12	12. 学級活動模擬授業の進め方について	指導案の検討、模擬授業の準備
13	13. 模擬授業の実践（1）	
14	14. 模擬授業の実践（2）	
15	15. 模擬授業の評価とまとめ	

## 評価

レポート課題60%及び平常の授業態度、提出物等40%により評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】遠藤昭彦、山口満編 『道德教育と特別活動』教職教育講座 第4巻 協同出版

文部科学省 『中学校学習指導要領』 政府刊行物

文部科学省 『中学校学習指導要領解説 特別活動編』 政府刊行物（ぎょうせい出版）

【推薦書】押谷由夫、宮川八岐編 『道德・特別活動重要用語300の基礎知識』 明治図書 375.35/D

科目名	教育基礎論		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 1 科目の性格

本科目は、教育職員免許法に定める、中学校2種免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「教育の基礎理論に関する科目」（4単位中の2単位）に対応するものである。（教職必修科目）

##### 2 科目の概要

本科目の概要は、(1) 教育の理念ならびに教育に関する歴史・思想について学ぶ、(2) 教育に関する制度、社会との関わり、学校経営の基本について学ぶことにある。

##### 3 学修目標

本科目の学修目標は、以下の2点である。 教育の歴史的な展開と教育に関する様々な知識を理解し習得する。 教育について多角的視点から根源的に考えることができるようになる。

#### 内容

- 第1回： 教育の概念をめぐって
- 第2回： 社会生活と教育
- 第3回： 古代・中世の教育と近代学校の成立
- 第4回： 「子ども」を中心にとらえる教育観の成立
- 第5回： 20世紀の代表的教育思想
- 第6回： 日本の学校制度と教育体系の整備
- 第7回： 教育の社会的基盤
- 第8回： 現代日本の教育課題
- 第9回： 子どもと社会環境・特別支援教育
- 第10回： 「学ぶ力・考える力」 能動的な学習者を育てる
- 第11回： 教育評価の意義と方法
- 第12回： 学校経営と学校評価
- 第13回： 学級経営の基本
- 第14回： 教育行財政の基本 生涯学習時代の「教育と学習」
- 第15回： まとめ

#### 評価

毎回授業時の小テストと筆記試験により評価する。その比率は、小テスト50%：筆記試験50%で、合計60%以上の得点の場合を単位認定する。及第点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】桑原敏明・佐藤三郎 編著『学校教育の基盤 - 教育の本質と社会の中の学校』協同出版

その他は、初回授業時に指示する。

科目名	国語科教育法		
担当教員名	松木 正子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

中学校国語科二種取得のための必修科目である。

ことばの学びの意義と「国語科」の位置づけを指導者の立場でとらえる。

具体的な指導法について理論を知り、実践を通して学ぶ。

「ことばの学び」「国語科」の意義を学習指導要領を参考に考察する。

具体的な国語の指導法を知り、これからの実践に役立てようとする。

さまざまな指導法を学ぶ。

#### 内容

1	「ことば」と国語科
2	国語科教育の変遷
3	国語科教育の現在
4	「伝え合う力」 話すこと・聞くこと
5	「読む力」をつける 読み取りのための理論
6	「読む力」をつける 物語文
7	「読む力」をつける 説明的な文章
8	「読む力」をつける 詩・古典
9	「書く力」をつける 作文教育の理論
10	「書く力」をつける 具体的な活動から
11	単元学習とは
12	言語活動（書写を含む）
13	言語活動（書写を含む）
14	国語教室の実際から
15	まとめ

#### 評価

講義ごとにミニレポート（2割）、実践参加の状況（2割）、最終レポート（6割）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

小学校学習指導書、小学校学習指導書解説編、総則編、国語科（文部科学省）



科目名	英語科教育法		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この講座では、学習指導要領に基づき、中学英語二種免許状の取得に必要な知識の獲得はもちろんのこと、教壇実習で必要な教授法について、実践的な指導技術を学ぶことをねらいとします。

#### 内容

まず、テキストやモデル授業のビデオを使って1時間の授業の組み立て方を学んだあと、Warm-upに続いてListening、Speaking、Reading、Writingなど具体的な指導法を研究し実践します。学生は教師と生徒の役をそれぞれ持ちまわりで分担し、該当する箇所の指導案を作成します。

第 1 週 授業説明

第 2 週 中学校の英語授業

第 3 週 授業の構成

第 4 週 Listeningの指導（その1）

第 5 週 Listeningの指導（その2）

第 6 週 Listeningの指導（その3）

第 7 週 Speakingの指導（その1）

第 8 週 Speakingの指導（その2）

第 9 週 Speakingの指導（その3）

第 10週 Readingの指導（その1）

第 11週 Readingの指導（その2）

第 12週 Readingの指導（その3）

第 13週 Writingの指導（その1）

第 14週 Writingの指導（その2）

第 15週 まとめ

#### 評価

課題50点、模擬授業50点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

米山朝二『英語教育・・・実践から理論へ』松柏社

科目名	道徳教育		
担当教員名	上原 行義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

## ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

### 科目の性格

本科目は、教育職員免許法施行規則に定める、中学校の免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「教育課程及び指導法に関する科目」に対応するものである。

中学校二種の免許状を取得しようとする者は、必修であるので留意すること。

### 科目の概要

道徳教育に対する一般的認識は、歴史的な影響もあって学習指導要領に定められた本質や理念とは、大きなずれがある。道徳教育が目指す人間観や教育観について正しく理解して指導に当たることが出来るように、下記の学修目標にかかわる事項について具体的に考察する。また、学生相互の意見交換を大切に、常に自ら判断し行動できる人間を目指して向上しようとする態度を身につける。

### 学修目標

- ・道徳教育とは何か、その意義や課題について考察し、道徳教育の本質や理念について正しく理解する。
- ・学校における道徳教育と道徳の時間の果たす役割について理解し、「道徳」の授業のあり方について考察する。
- ・「道徳」の授業の進め方について理解し、学習指導案を作成する。

## 内容

1	1	学習指導要領における道徳教育の位置づけ
2	2	社会規範としての道徳 道徳教育に関する一般的認識のずれ
3	3	現代社会における道徳教育の課題 青少年の問題状況・現代社会の道徳的問題
4	4	道徳の本質と道徳教育の意義 人間の存在構造と道徳教育・道徳の本質・理論的基礎
5	5	学校における道徳教育の基本構造 学校の社会的任務・道徳教育の目標と内容
6	6	学校の全教育活動における総合的展開
7	7	学校における道徳教育の運営と指導 道徳教育の指導計画・道徳の時間の指導
8	8	道徳の時間の指導案と指導の諸方法 学習指導案の作成
9	9	学校における道徳教育の基礎 道徳における行為決定のしくみ・学校における道徳教育
10	10	学校における道徳の授業 どんな資料で何をねらうか
11	11	これからの時代に要求される道徳教育 道徳教育をめぐる動向・道徳教育の新しい発想
12	12	学習指導案の検討と模擬授業の準備
13	13	模擬授業の実践(1)
14	14	模擬授業の実践(2)
15	15	模擬授業の評価とまとめ

## 評価

レポート課題60%及び平常の授業態度、提出物等40%により評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 遠藤昭彦、山口満編 『道徳教育と特別活動』教職教育講座 第4巻 協同出版

文部科学省 『中学校学習指導要領』 政府刊行物

文部科学省 『中学校学習指導要領解説 道徳編』 政府刊行物

科目名	生徒指導		
担当教員名	江川 玫成		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

生徒指導については、高校時代までに、指導を受けるという経験を通して、ある程度は知っているであろう。しかし、それは必ずしも当を得た理解とは限らない。そこで、生徒指導の意義・目的、課題、内容、方法について、きちんと理解を図ることを目的とする。合わせて、進路指導についても同様に理解を深めることをねらう。

この授業を通じて、教師として行うべき生徒指導について、その意味、意義・重要性、指導内容、教育課程との関連性、指導の組織と計画、生徒理解の方法、指導方法、進路指導等について、きちんと理解してほしい。

#### 内容

1. 生徒指導の意義と目的
2. 生徒指導の領域・内容と課題
3. 生徒指導と教育課程との関連
4. 生徒指導の組織と計画
5. 児童・生徒理解の意義と重要性
6. 児童・生徒理解の内容
7. 児童・生徒理解の方法（観察法）
8. 児童・生徒理解の方法（面接法）
9. 児童・生徒理解の方法（検査法）
10. 生徒指導における集団活動の意義と重要性
11. 生徒指導における集団指導の方法
12. 進路指導の目的と内容（その1）
13. 進路指導の内容（その2）
14. 進路指導の方法
15. まとめ

授業は教科書を使って行うが、必要に応じて別途プリントや資料を配布し、講義形式で行う。そして、質問を発して、拳手の形で答えるという質問応答の方法を取り入れて行う。

また、毎回の授業で、その時間に学ぶべき事項の理解を深めるべく、かつ復習を兼ねて質問を発し、配布された用紙に解答して提出してもらおう。なお、これが平常点と出欠チェックの資料となる。

#### 評価

平常点（15点） レポート（15点） 筆記試験（70点） 60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】江川？成編著 『生徒指導の理論と方法』 学芸図書

【参考図書】学校教育研究所編 『生徒指導の今日的課題』 学校教育研究所

江川？成編集 『校長・教頭のための児童・生徒問題対応百科』 教育開発研究所

上寺久雄編 『生徒指導』 有信堂

推薦書・参考図書については、これ以外にも授業で提示する。

科目名	教育相談		
担当教員名	上原 行義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

本科目は、教育職員免許法施行規則に定める、中学校の免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目」に対応するものである。

中学校二種の免許状を取得しようとする者は、必修であるので留意すること。

#### 科目の概要

学校教育において個に応じたきめ細かな指導を進めるために、児童生徒理解を欠かすことは出来ない。指導にあたる教師が児童生徒のありのままを受け止め、教育相談的にかかわることができるようにするため、下記の学修目標にかかわる事項について具体的に考察する。また、学生相互の意見交換を大切に、主体的に人とかかわる体験を通して教師を目指して自ら向上しようとする態度を身につける。

#### 学修目標

- ・学校教育相談とは何か、教育相談やカウンセリングの歴史及び基本的な理論について理解し、その意義や課題について考察する。
- ・学校における生徒指導の中核をなす教育相談の果たす役割について理解し、カウンセリングマインドによる具体的な指導のあり方について考察する。
- ・学校教育相談の進め方について理解し、カウンセリングの模擬体験をする。

#### 内容

1	(1) 生徒指導における教育相談の位置づけ
2	(2) 生徒指導の内容と教育相談
3	(3) 生徒理解と生徒指導の方法
4	(4) 問題行動の意味と枠組み
5	(5) 学校における教育相談の意義と特色
6	(6) 学校教育相談の担当者
7	(7) 学校教育相談の基本的考え方
8	(8) 教育相談・カウンセリングの理論
9	(9) 教育相談・カウンセリングの進め方
10	(10) カウンセリングの基本技法
11	(11) カウンセリングの模擬体験(1)
12	(12) カウンセリングの模擬体験(2)
13	(13) 学校教育相談におけるさまざまな手法の活用
14	(14) カウンセリング実習(1)
15	(15) カウンセリング実習(2)・評価とまとめ

## 評価

試験60%及び平常の授業態度、提出物等40%により評価を行い、60点以上を合格とする。  
合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】長谷川栄、杉原一昭編 『生徒指導と教育相談』教職教育講座第5巻 協同出版

科目名	教育実践論		
担当教員名	岩井 雄一、星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 1 科目の性格

本科目は教育職員免許法に定める、中学校2種免許取得に必要な「教科又は教職に関する科目」（4単位中の2単位）に対応する。

##### 2 科目の概要

本科目は、教職課程における「介護等実習」について単位取得するための科目である。内容は集中講義による事前・事後指導と、7日間の現場実習により構成する。

##### 3 学修目標

本科目の学修目標は以下の3点である。 介護（福祉施設・特別支援学校）の基本的知識を理解する。 施設（老人介護・障害者介護）での実習を通して介護の基本を体得する。 特別支援学校での実習を通して介護の基本を体得する。

#### 内容

##### 1. 集中講義による事前指導（4時限相当）

- (1) 統合教育の理念
- (2) 社会福祉の歴史と施設種類
- (3) 特殊教育の歴史と学校の種類・特性
- (4) 介護の基本手技

##### 2. 現場実習

- (1) 社会福祉施設における実習（5日間）
- (2) 特殊教育学校における実習（2日間）

##### 3. 事後指導（2時限相当）

- (1) 実習を振り返って
- (2) 体験報告書の作成について

#### 評価

実習校・実習施設からの評価を100点満点に換算して評定する。60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは指定しない。

都道府県の社会福祉協議会や教育委員会の指導冊子を配布し、これに基づき指導する。



科目名	国語科教育法		
担当教員名	松木 正子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

中学校国語科教諭二種取得のための必修科目である。

国語科において学習材を教材として扱うための方法とその実践的な学びを行う。

さまざまな学習材を知り、それぞれのねらいと指導法を考察する。

実際に指導案を作成したり模擬授業をするなど実践を通して学ぶ。

研究協議を通して、教材研究の力を高める。

#### 内容

1	小学校の「国語科」について
2	国語科教材研究とは
3	文学教材の研究 低学年
4	文学教材の研究 中学年
5	文学教材の研究 高学年
6	模擬授業に向けて
7	授業研究の実際
8	説明的な文章の研究 低学年
9	説明的な文章の研究 中学年
10	説明的な文章の研究 高学年
11	表現の指導
12	音声言語の指導
13	言語事項の指導
14	書写の指導
15	まとめ

#### 評価

ミニレポート（2割）、実践参加の状況（3割）、最終レポート（5割）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説 国語科（文部科学省）

科目名	英語科教育法		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この講座では、「英語科教育法I」で学んだ基礎知識に加え、1時間の授業全体を通して肉付けをしながらより良い授業展開ができるようになることをねらいとします。

#### 内容

「英語科教育法I」に引き続き模擬授業をすすめながら、日本英語教育史、教科書分析、指導案作成の指導を行います。日本英語教育史では、日本の英語教育の歴史を概観して、さまざまな教授法に触れることにより、現在中学校で行われている英語教授法を具体的な方法論の形で把握します。また、随時英語実力テストを行ったり、基礎英文法の復習などを通して、学生の英語力の向上を図ります。

第 1 週 総合活動（その1）

第 2 週 総合活動（その2）

第 3 週 総合活動（その3）

第 4 週 早期英語教育（その1）

第 5 週 早期英語教育（その2）

第 6 週 評価（その1）

第 7 週 評価（その2）

第 8 週 言語とその指導（その1）

第 9 週 言語とその指導（その2）

第 10週 英語教授法と英語教師（その1）

第 11週 英語教授法と英語教師（その2）

第 12週 教授メディア（その1）

第 13週 教授メディア（その2）

第 14週 教授メディア（その3）

第 15週 まとめ

#### 評価

課題50点、模擬授業50点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

米山朝二『英語教育・・・実践から理論へ』松柏社

科目名	教職入門		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 1 科目の性格

本科目は教育職員免許法に定める、中学校2種免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「教職の意義等に関する科目」（2単位）に対応するものである。（教職必修科目）

##### 2 科目の概要

本科目の概要は、主に以下の3点である。 教職の意義と、教員の役割についての根本原理を学ぶ。

教員の職務内容（サービス・研修など）について学ぶ。 教員採用のあり方などを知る。

##### 3 学修目標

本科目の学修目標は、以下の3点である。 教職の制度的側面についての基礎知識を習得する。 教職にの意義と教員の役割について理解を深める。 教職への意欲を高める。

#### 内容

- 第1回： 学校をめぐる、現代の諸問題
- 第2回： 現代社会の教育課題と学校（1） 義務教育課程における課題
- 第3回： 現代社会の教育課題と学校（2） 後期中等教育における課題
- 第4回： 専門職としての教師・その法的位置づけ
- 第5回： 教師像の歴史的变化
- 第6回： 教員生活の実際
- 第7回： 教師の職業的社会的化と研修の意義
- 第8回： 研修制度の実際
- 第9回： 学習指導要領の法的意義
- 第10回： 学校教育と法体系
- 第11回： 教員のサービス
- 第12回： 学校・家庭・地域社会の連携と教員の役割
- 第13回： 教員生活を振り返って・授業担当者による教員生活体験談
- 第14回： 学校教員の採用システムとその対応
- 第15回： まとめ

#### 評価

毎回授業時の小テストと筆記試験により評価する。小テスト50：期末試験50の比率で評価（100点満点）し、合計60点以上を単位認定する。合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】 テキストは、「図説・表解 教育法規」 坂田仰ほか著 教育開発研究所、を用いる予定である。変更の場合もあるので、初回の授業で指示する。

【参考図書】 参考書・参考資料等として、教育法規に関しては「学校小六法」が、採用情報に関しては都道府県教育委員会の広報が役立つ。

科目名	教職実践演習（中学校）		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 1 科目の性格

本科目は、教育職員免許法に定める「教職に関する科目（教職実践演習）」の2単位に対応する教職必修科目である。

##### 2 科目の概要

本科目は、中学校教員として必要な資質が身に付いているかを、法規理解、授業設計と実施能力、学級経営能力、生徒理解の能力などの観点から再検討し、自己の進路として教職が適当であるのか自己評価する機会を持つことを目的とする。

##### 3 学修目標

本科目の学修目標は以下の点である。 中学校教員の仕事についてよりよく理解する。 教員になることの実際の意義について理解を深める。 教職に対する使命感を高める。

#### 内容

- 第1回 教員の使命と社会的責任 - 基礎的法規の理解（研究発表と討議）
- 第2回 教科教育に必要な基本的能力について（研究発表と討議）
- 第3回 「すぐれた授業」とは何か - 先人の遺産に学ぶ（VTR視聴と討議）
- 第4回 授業の実際 - 国語授業（新座市立中学校における授業参観と討議）
- 第5回 授業の実際 - 英語授業（新座市立中学校における授業参観と討議）
- 第6回 模擬授業（授業演習と討議）
- 第7回 模擬授業（授業演習と討議）
- 第8回 学級指導計画の立案（年間計画案の作成演習）
- 第9回 ホームルームの実際（新座市立中学におけるロングホームルーム参観）
- 第10回 学校経営についての理解（公立中学校校長経験者による講演と討議）
- 第11回 教員のチームワークについての理解（公立中学校校長経験者による講演と討議）
- 第12回 「生徒を理解する」とは何か（研究発表と討議）
- 第13回 「生徒を伸ばす」とは何か（研究発表と討議）
- 第14回 進路指導と学級担任の役割（研究発表と討議）
- 第15回 「私が教員になること」 - 教職課程全体を振り返っての自己評価（レポート作成）

#### 評価

授業における口頭発表50：まとめのレポート50の比率で評価（100点満点）し、合計60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、まとめレポートの再提出を求める。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】 テキストは「現代実践教職入門」 橋本克己・天井勝海ほか 学事出版 2006年、を用いる。

【参考図書】 「教職入門」で用いた、「学校教育の基盤」 佐藤三郎・佐々木俊介ほか 協同出版 1985年、のほか、適宜指示する。

科目名	<b>教育実習</b>		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

1. 教職科目、教科関連科目、教育実習 で習得してきた内容をふまえて、教育実習 では、実際に学校現場で授業を担当する。これまでに習得してきた、教授・学習、教育方法等に関する受動的な知識を実践的な知識に変換し、教員を目指す者としての実践的能力を身につける。
2. 学校現場での、実際の勤務経験を通して、自身の教職についての適性を見極める。

#### 内容

教育実習協力校における、3週間以上の授業の担当（中学校英語科）による教育実習を行う。

#### 評価

実習校からの評価を100点に換算して評定する。60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

使用しません。

科目名	教育実習		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

教科教育法や教科関連科目によって習得してきた知識・理論・方法論を踏まえた上で、実際に教育実習を行うにあたって具体的な事前、中間、事後の指導を行う。この指導により参観実習および教壇実習の成果を最大限に引き出し、教員を目指すものとしての責任を自覚させ、実際の授業運営能力を向上させることをねらいとする。

なお本科目は、教員免許法に定める「教育実習」のうち、1単位に相当する。

#### 内容

##### 1. 事前指導（ 8 時限相当の時間を配当する ）

- (1) 教育実習オリエンテーション
- (2) 実習時における勤務・サービスの心得
- (3) 実習記録の作成法
- (4) 配当科目についての最終的な指導案作成
- (5) 実習校訪問

##### 2. 中間指導（ 4 時限相当の時間を配当する ）

- (1) 前期実習を振り返っての反省会
- (2) 実習日誌の中間提出
- (3) 後期実習に向けての指導

##### 3. 事後指導（ 3 時限相当の時間を配当する ）

- (1) 教育実習総括反省会の実施
- (2) 実習校訪問

#### 評価

実習校からの評価を100点に換算して評定する。60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業の際に指示する。

科目名	<b>教育実習</b>		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

- 1．教職科目、教科関連科目、教育実習 で習得してきた内容をふまえて、教育実習 では、実際に学校現場で授業を担当する。これまでに習得してきた、教授・学習、教育方法等に関する受動的な知識を実践的な知識に変換し、教員を目指す者としての実践的能力を身につける。
- 2．学校現場での、実際の勤務経験をとおり、自身の教職についての適性を見極める。

#### 内容

教育実習協力校における、2週間の授業担当による教育実習を行う。

#### 評価

実習校からの評価を100点に換算して評定する。60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

使用しない。